

予 算 要 求 資 料

令和 3 年度当初予算 支出科目 款：商工費 項：商工費 目：中小企業振興費

事業名 ソフトピアジャパン・センタービル電源受電設備改修工事費

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

商工労働部 産業技術課 IT 利用促進室 IT 拠点活用推進係

電話番号：058-272-1111 (内 3051)

E-mail: c11352@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 320,190 千円 (前年度予算額：21,428 千円)

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収入	寄 附 金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	21,428	0	0	0	0	0	0	19,200	2,228
要求額	320,190	0	0	0	0	0	0	0	320,190
決定額	0	0	0	0	0	0	0	0	0

2 要求内容

(1) 要求の趣旨 (現状と課題)

ソフトピアジャパン・センタービルの電源受電設備改修に要する経費。

ソフトピアジャパン・センタービルは竣工後 25 年 (H8 年 2 月竣工) を経過し、電源受電設備の老朽化が進んでおり、その保全が必要である。

センタービルは、特別高圧電源 (77,000 ボルト) を一般的な高圧電源 (6,600 ボルト) に変圧し、館内に電気供給している。この変圧のために、特別高圧受電装置、変圧器などの大規模な設備を館内に保有している。これらの設備の改修について調査、方針を検討した結果、高圧電源での受電に切替えることが適当である。

そのため、センタービルの電源受電設備改修を行うことで施設を長期的にまた安定的に管理運営する体制をつくる。なお、安心して安全な施設を利用できることが IT 関連企業の集積・入居率の向上や、施設の貸出利用に繋がる。

(2) 事業内容

ソフトピアジャパン・センタービルの電源受電設備の改修を行う。

3 事業費の積算内訳

(千円)

	R 2	R 3	計
工事請負費	0	290,827	290,827
委託料	(設計費) 21,340	(工事監理) 2,750	24,090
工事負担金	0	25,740	25,740
事務費	88	873	873
合計	21,428	320,190	341,530

(事務費内訳) 旅費132、役務費301、消耗品費374、燃料費66

決定額の考え方

長寿命化工事の年度間の平準化のため、計上を見送ります。

4 参考事項

(1) 各種計画での位置づけ

II ふるさと岐阜県の資源を活かした活力づくり

1 モノをつくって、地域外からお金を稼ぐ地域をつくる

◆ソフトピアジャパンのIT関連企業の集積や優れた情報基盤を活用し、地域産業の高度化を担う産業人材を育成・供給し、地元のIT企業の競争力を強化する。

事業評価調査書（県単独補助金除く）

新規要求事業

継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか

老朽化しているソフトピアジャパン・センタービルの電源受電設備の改修を行うことで施設を長期的にまた安定的に維持管理できる体制をつくる。なお、安心して安全な施設を利用できることがIT関連企業の集積・入居率の向上や、施設の貸出利用に繋がる。

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前	指標の推移		現在値	目標	達成率
ソフトピアジャパンセンター入居施設入居率 [課内指標]	センタービル、アネックス及びドリム・コア 62.7% (H17)	71.1% (H31.4.1現在)	72.7% (R2.4.1現在)	74.5% (R2.9.1現在)	80.0% (R3.4.1現在)	93.1%
	ワークショップ24 54.1% (H25.3)					

○指標を設定することができない場合の理由

（前年度の取組）

- ・事業の活動内容（会議の開催、研修の参加人数等）
実施設計を実施

（前年度の成果）

- ・前年度の取組により得られた事業の成果、今後見込まれる成果
実施設計により工事内容と工事費を確定

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

<ul style="list-style-type: none"> ・事業の必要性（社会経済情勢等に沿った事業か、県の関与は妥当か） ○：必要性が高い、△：必要性が低い 	
(評価) ○	入居者及び利用者に不利益を与えないよう、不断の施設維持が必要。
<ul style="list-style-type: none"> ・事業の有効性（指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか） ○：概ね期待どおり又はそれ以上の効果が得られている、△：まだ期待どおりの成果が得られていない 	
(評価) ○	施設維持のための必要最低限の改修を実施。
<ul style="list-style-type: none"> ・事業の効率性（事業の実施方法の効率化は図られているか） ○：効率化は図られている、△：向上の余地がある 	
(評価) ○	中長期保全計画を作成して、優先順位の高い必要な修繕を実施し、経費の節減を図っている。また、共通の足場代がかかる工事を合わせて施工するなど、経費の削減を図る。

(今後の課題)

<ul style="list-style-type: none"> ・事業が直面する課題や改善が必要な事項 施設の耐用年数を延ばすためにも、引き続き予防保全を含む施設の維持修繕を行っていく。

(次年度の方向性)

<ul style="list-style-type: none"> ・継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか 施設利用者等が安心して安全な施設を利用できるよう施設維持に努める。
--

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

組み合わせ予定のイベント又は事業名及び所管課 組み合わせる理由や期待する効果 など	
--	--